

教育会館だより



No.67

発行日
2016年4月1日
発行人
福岡 修一

【題字】
館盛 静光
(元相模原市長)

目次

- 1 ページ
理事長のあいさつ
- 2・3 ページ
会館設立30周年記念行事
- 4・5 ページ
2015年度事業報告
- 6 ページ
2016年度事業計画

発行 一般財団法人相模原教育会館 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-13 ☎042(758)2190



理事長 福岡 修一

ご利用される皆さまの様々な「声」を謙虚に： 今後も40年、50年と事業を継続・ 発展させ、より魅力ある教育会館へ

新年を迎えた1月30日、相模原市教育委員会教育長の岡本実様、県央地区校長会連絡協議会会長の五十嵐広行様、そして相模原市立小中学校PTA連絡協議会会長の柴田輝隆様をはじめ、多くのご来賓や教育関係者の皆さまにご出席いただく中、会館設立30周年記念行事を挙行することができました。県央・県北地域の子どもたちが、思いやりのある心豊かな人間に育つことを願い設立され、30年

間には、法人制度改革ができたのも、地域・教職員・退職教職員等の多くの方々のご支援の賜であり、会館を代表して改めて感謝の意を表するところであります。

2013年には、法人制度改革に対応するため一般財団法人へ移行しましたが、設立時の理念をより一層具現化すべく、教育文化の振興、教職員の研修・福利厚生の実現にむけて尽力してまいります。

社会の価値観が多様化し、様々な教育ニーズが学校や社会に求められています。教育には、時代を超えて変わることのない普遍性と、社会の要請に対応しなければならぬ柔軟さが求められます。設立時の理念のもと、ご利用される皆さまの様々な「声」を謙虚に受け止め、会館運営の基盤整備等も含め役員一同さらなる努力をして参る所存です。



相模原教育会館設立30周年記念行事の様子

今後も40年、50年と事業を継続・発展させ、より魅力ある教育会館となるよう、忌憚ないご意見・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

一般財団法人相模原教育会館

理事長 福岡修一

(一財)相模原教育会館 設立30周年記念行事・式典の部

2016年1月30日(土) 相模原教育会館で多くの参列者をお迎えし、会館設立30周年記念式典を挙行了しました。

理事長あいさつ

●相模原教育会館理事長
●湘北教職員組合執行委員長



福岡 修一

1985年の会館設立から30年、相模原、大和、座間、綾瀬、海老名、厚木、愛川、清川の、県央・県北地域の子どもたちが思いやりのある心豊かな人間に育つことを願い、地域の皆様をはじめ、多くの方々のご尽力、そしてご利用いただき、ここまで来ることができました。2013年には一般財団法人へ移行しましたが、設立時の理念をよりいっそう具現化するため、ふれあい教育事業をはじめ、教育文化講演会や、教職員体育大会などの事業を幅広く展開しています。会館の設立趣意書にあ

ります「次代を担う児童・生徒が自然と人とのふれあいを通じて思いやりのある、心豊かな人間として育つ」ことをめざし、今後ふれあいをキーワードに、知恵を出し合い、工夫を重ね、新たな事業を展開してまいります。

来賓祝辞

●相模原市教育委員会教育長



岡本 実さん

相模原教育会館関係各位に敬意と感謝を申し上げます。

多様化する教育課題を解決するために、学校、地域、行政が協力し、地域に根ざした教育推進のあり方が問われる現在、教育会館の寄与してきたことに感謝します。そして、教職員が子どもたちに向き合う時に、専門職として、ゆとりを持って、力強く接することができるよう、教育会館の今後の益々の発展と、県央・県北地域の子どもたちの笑顔と幸せを祈ります。

●日本教育会館理事長
●日本教職員組合中央執行委員長



加藤 良輔さん

感慨深くこの場に立っています。法人設立と同時に組合の役員となり、会館落成記念式典には、中地区の書記次長として参列しました。初代理事長松下さん、小中さん、太田さん、江成さんをはじめ歴代の役員の皆様には、お世話になりました。また、井上芳明先生にも感謝しています。

私は、日教組の中央執行委員をしており、昨日、連合と経団連の春闘に向けての会談に出席しました。経営側のグローバル競争に勝ち抜くための話のなか、コッコツ働くことを嫌う若者の意識の変化の話に「違和感」を覚えました。私たちのふれあっている子どもたちの多くは、額に汗して働くなかで、生きがいをおぼえつつ人生を全うしていくわけですから、ごく一部の者たちだけに焦点を当てるのではないわけで、会館の設立趣意書にも同じものを感じています。さらに、「ふれあい教育」を神奈川で展開してきましたが、その背景にある、長洲元知事が提唱し

た「騒然たる教育論議」を思い出しています。皆さんとともに、子どもたちへのとりくみを進めていきたいと思っています。

●神奈川県教育会館理事長
●神奈川県教職員組合執行委員長



芹沢 秀行さん

私の出身の三浦半島地区教組には、横須賀教育会館があります。

当時の理事長さんから、会館設立と維持運営の積み重ねの大切さを教えられました。縁あって神奈川県教育会館に関係することとなっからは、小中さんに大変お世話になりました。そして、会館設立にあたっての関係各者が力を合わせた苦勞もさることながら、地域文化運動や教職員の福利厚生、研修会等、地道な維持運営の努力は、それ以上の困難さがあります。その意味からすると相模原教育会館が設立30周年を迎えたことの意義は関係各者の努力の証であります。数年前、一般または公益財団法人への移行を選択する際も、県内各教育会館が、情報交換をしながら無事に移行できました。県内各教育会館の発展を祈念し、御祝の言葉とさせていただきます。

- 相模原教育会館初代理事長
- 相模原教育会館前館長
- 日本教育公務員弘済会

神奈川支部支部長代理

- 湘北退職教職員の会会長

松下 登志男さん



30年前設立
に関わった者
として感慨深
いものがあり
ます。小中儀

隆さん、太田則久さん、井上芳明さんがここに来られないのを残念に思います。謹んでご冥福をお祈り致します。

当時の関係者は、柴田正輝さんと私くらいになってしまいました。起工式までは私が理事長、完成時は小中さんが理事長でした。当時は、土地から全て自前で、という話もあり、別の場所が候補に挙がっていました。土地、建物はローンを組んでという話もありましたが、結果として財団法人を設立し、財団が市から土地を借りることになりました。また、神奈川県教育会館からもアドバイスをいただき無事認可をいただきました。資金の調達については会館準備基金として寄付を募り、不足分は組合員から3万円の臨時徴収することを臨時大会で決定する

等、教育界が一体となって建てる
ことができました。経験のない
中、建築業者の入札も行いまし
た。

ところで、5年前3・11の時に
2階の館長室にいましたが不思議
と出てきた言葉が「大丈夫」でし
た。揺れに耐えたのは皆の魂かも
知れませんが。最後に、今後の発展
を祈っています。

祝辞の終わりに(公財)日本教
育公務員弘済会神奈川支部から福
岡理事長へ『壁掛け鏡』の贈呈が
ありました。

- 県央地区校長会連絡協議会会長
- 相模原市立小中学校校長会会長
- 相模原市立大沢中学校校長

五十嵐 広行さん



30数年前、
初代館長だっ
た柴田正輝校
長先生のもと
で上溝中学校

に新採用になりました。

30年前に流行っていたのは、チ
ェッカーズ、中森明菜。電電公社
がNTTに、専売公社がJTとな
り、妻と知り合ったのもこの頃で
す。

この30年いろいろなことがあり

ました。かつて、バスケットボー
ル専門部長をしていた関係で、教
育会館が支援する日韓親善ユース
バスケットボールの韓国派遣で、
大沢中学校の生徒を引率して行き
ました。校長として改めて赴任
し、職員玄関の片隅に自分の写っ
たその時の写真を見つけて懐かし
んでいます。

- 相模原市立小中学校PTA

連絡協議会会長



柴田 輝隆さん
設立30周年
をお祝い申し
上げます。相
模原教育会館
に関係されて

いる皆様には、子どもたちの環境
を作っていくために、ご尽力いた
だき、保護者の代表としてお礼申
し上げます。

相模原市P連は、学校を後ろか
らサポートする活動を会員にお願
いしてきました。おとな同士の絆
を深め、地域のおとなの学校への
意識を高め、何かしてもらうので
はなく何ができるか、相模原市P
連として多くの事業を相模原教育
会館を起点として構築し、相模原
教育へ寄与していきたいと思っ
ています。相模原教育会館の益々の
発展を祈ります。

- 相模原市立小中学校
管理職組合執行副委員長
- 相模原市立内郷中学校校長

北村 正弘さん



相模原市は、
この場所を起
点に活動でき
ており感謝し
ています。こ

の教育会館は、私個人にとっても
研修や会議等で、教職員として多
くのことを学ばせていただいた大
切な場所です。数えてみると年間
30回以上この会館にお世話になっ
ており、今後とも、文化の発信基
地、学びの場として、益々の発展
を祈ります。



来賓の紹介・お祝いメッセージ
・祝電披露に引き続き、島崎能充
館長から学
校代表へ、
子どもたち
の健康管理
に役立つこ
とを願って
記念品の
『熱中症指
数表示温湿
度計』が贈
呈されまし
た。

2015年度事業報告

●親と子のふれあいツアー

ビワ狩り、貝殻ストラップ作りで仲間とリフレッシュ

6月13日(土)に「親と子のふれあいツアー」を17人が参加する中、開催しました。

東京湾アクアラインを渡って、千葉県の南房総方面でビワ狩りを体験しました。自分で収穫して食べることが初めての人が多く、「初めてビワ狩りをしたが、来年も参加したい。」「親孝行ができました」という声が聞かれました。

お昼は、ホテルのバイキング、その後、貝殻ストラップ作りを体



験しました。

家族・仲間とともにゆったりと過ごし、リフレッシュできた一日となりました。

●人権・解放教育研修会

年2回開催、230人を超える参加者

6月23日(火)「第1回人権・解放教育研修会」を90人が参加する中、開催しました。「日本で暮らす在外外国人の現状と課題」をテーマに大石文雄さん(在外外国人教育生活相談センター)の講話を聞き、外国につながるのがある子どもたちの学習する困難や、進路



選択の苦勞等への理解を深めることができました。

1月29日(金)「第2回人権・解放教育研修会 自立と共生をめざす教育研修会」を湘北教職員組合女性部との共催で140人が参加する中、開催しました。「性的マイノリティ(LGBT)の基本的理解について」をテーマに、内

海崎貴子さん(川村学園女子大学)の講話を聞いた後、グループで話し合いをしました。「なるべく多くの人(保護者・市民)に聞いてもらおうと、教育現場が少しずつ変わっていくのではないかと考えた」「子どもたちに伝えるこの仕事の責任の重さを感じた」等の声がありました。

●親と子のふれあい映画会

人気映画「ロラックスおじさんの秘密の種」を4会場で

夏休みに入った7月下旬より4会場(相模原教育会館・津久井中央公民館・愛川町文化会館・ハーマニーホール座間)で親と子のふれあい映画会を開催しました。

「ロラックスおじさんの秘密の種」は、主人公があこがれているガールフレンドがほしがっている本物の木を手に入れようとして、最後の種を探す大冒険の物語です。

どの会場でも、子どもから大人まで、様々な世代の方に来場していただき「緑の大切さを楽しく伝えていたので良かった」「大人も子どもも楽しめる映画で良かった」等、大好評でした。

2016年も7月下旬に相模原教育会館の他、全4会場で開催する予定です。

●親と子のふれあいカルチャー教室

鮮やかな色の組み合わせ「毛糸の帽子」を仕上げる

7月28日(火)「キミ子方式」で知られる松本キミ子さんを講師にお迎えして「親と子のふれあいカルチャー教室」を開催しました。今年も子どもから大人まで計18人の参加がありました。

午前は三原色(赤・青・黄色)と白色を組み合わせて「色づくり」、午後は、毛糸の帽子を描きました。参加者は、色の作り方や毛糸の風合いが出るよう工夫しながら、作品を仕上げていました。

参加者からは、「三つの色から様々な色ができて驚いた」「毛糸の帽子を描くのが難しかった」等の声が寄せられました。

2016年は7月26日(火)に予定されています。たくさんの方の参加をお待ちしております。



●湘北教職員体育大会(陸上の部) 若手教職員中心に110人 雨の中、親睦を深める

10月16日(金)に第48回湘北教職員体育大会(陸上の部)を厚木市荻野運動公園陸上競技場で県央・相模原地域内各教育委員会後援により開催しました。今回もナイターで開催し、若手教職員を中心に110人を超える参加がありました。参加者からは「雨の中だったが、気持ちよく走れた。」「ムカデ競走で仲間意識が深まった」等の感想が多数寄せられ、みんなで心地よい汗をかき、リフレッシュすることができました。

2016年は10月に球技の部を開催する予定です。



●教育文化講演会 横内謙介さんが「創造性のあ る人間を育むために」をテー マで講演

1月30日(土)、相模原教育会館で、相模原教育会館設立30周年記念行事にて教育文化講演会を開催しました。今回は、演出家で劇作家の横内謙介さんに講演していただきました。

横内さんは演出をされたスーパードラマ「ワンピース」のエピソードをふまえ、一定の「型」に基づく演技の中で、観客などのことを考えながら自分の「個性」を創造していく歌舞伎の世界について語られました。続いて、参加者全員で演技体験をしました。最初

は、恥ずかしさがありました。横内さんの話術等にも引き込まれ、いつの間にか一人ひとり「個性」のある演技となっていました。

「演技を練習することで、相手の気持ちを考えて演じることが、他者理解につながると感じた」「子どもたちや、仲間にも体験させてみたい」等の声が聞かれました。次回は2017年2月上旬に予定されています。

●退職教職員税務説明会

5人の税理士を講師に約30人が確定申告の方法を学ぶ

相模原教育会館事業の一つとして、毎年確定申告の時期に県央・相模原地域8市町村の退職教職員を対象にした「税務説明会」をおこなっています。これは、退職教職員の会との共催で、前年度の3月末の退職者に、はがきでお知らせしています。

2月6日(土)5人の税理士の方を講師に迎え、初めての退職所得に対する確定申告する手続きについての講習を行いました。今年度は約30人の退職教職員が参加しました。個別に丁寧な説明を受けながら、申告書の計算・作成をすすめる、好評のうちに説明会を終えることができました。

相模原教育会館の会議室や和室を利用してみませんか？

(一財)相模原教育会館は、300人以上が入れる大会議室や詩吟等の練習ができる和室まで、各種様々な部屋を貸し出しています。ぜひ、ご利用ください。

室名	定員	料金
小会議室(1)	机使用30名	1時間 600円
小会議室(2)	机使用30名	1時間 600円
小会議室(3)	机使用30名	1時間 600円
小会議室(1)(2)は合わせて1室(机使用60名)として利用できます。		
和室	座卓使用18名	1時間 600円
大会議室(1)	机使用 120名	椅子のみ180名 1時間1800円
大会議室(2)	机使用 120名	椅子のみ180名 1時間1800円
大会議室(1)(2)は合わせて1室(机使用240名、椅子のみ使用360名)として利用できます。		
控 室	机使用10名	1時間 300円

地域に根ざす教育・文化の振興に寄与するために

2016年度一般財団法人・相模原教育会館事業計画

1. 教育文化振興事業

ターズ戦)

(1) 親と子のふれあい映画会

・時期 7月下旬
・場所 相模原教育会館
7月22日(金)、他県央・相模原地区内公共施設
・内容 映画上映

・内容 (自然や動物と人とのふれあいをテーマにした作品)

・対象 一般

(2) 教育文化講演会

・時期 2月上旬
・場所 相模原教育会館
・内容 文化・教養の向上に資するもの

・対象 一般

(3) 「教育会館だより」の発行

・時期 年1回
・内容 実施事業の報告およびPR

・対象 一般

2. 教職員福利厚生事業

(1) スポーツ観戦チケット幹旋

・時期 3月(前期日程分)
5月(後期日程分)
・内容 横浜スタジアム・ペアチケット幹旋
(プロ野球横浜ベイ

ス)

・対象 教職員

(2) 親と子のふれあいツアー

・時期 6月12日(日)
・場所 山梨方面
・内容 自然や人とふれあいのできる体験や活動

・対象 教職員とその家族

(3) 親と子のふれあいカルチャー教室

・時期 7月26日(火)
・場所 相模原教育会館
・内容 絵画教室

・対象 教職員とその家族、小・中学生

(4) 国際交流教育事業

・時期 8月上旬
・場所 韓国
・内容 日韓親善ユースバスケットボール大会・交流行事

・対象 湘北地区中学校バスケットボール部員、教職員

(5) 歴史・文化散歩

・時期 9月上旬
・場所 未定
・内容 歴史や文化、由緒ある場所などの見学

・対象 退職教職員とその家族

(6) 湘北教職員体育大会(球技の部)

・時期 10月
・場所 県央・相模原地区内公共施設

・対象 教職員

(7) 人権・解放教育研修会

・時期 6月、1月(2回開催)
・場所 相模原教育会館
・内容 人権課題に対する意識理解を深めるための研修会

・対象 教職員

(8) 学習交流会

・時期 10月中旬
・場所 相模原教育会館
・内容 学校現場の教育課題についての話し合い

・対象 教職員、退職教職員

(9) 教育・教養研修会

・時期 未定
・場所 相模原教育会館
・内容 教育課題に関する研修会

・対象 教職員

(10) 退職教職員税務説明会

・時期 2月初旬(休日)
・場所 相模原教育会館
・内容 確定申告に関する説明

・対象 2015年度退職教職員

(11) 物資幹旋

・時期 随時
・場所 各学校・各教職員より申し込み
・内容 物資販売の幹旋案内

・対象 教職員

3. 教育会館運営及び生命共済事業等

(1) 湘北教職員生命共済

・時期 7月下旬～9月中旬
(説明会・加入手続き)
・2月(保障制度開始)
・2017年度(第31期)更新推進事業、新規・継続加入説明・通知等

・対象 教職員

(2) 会議室の貸室

・時期 通年
・内容 教育会館内会議室の貸出案内・調整、施設整備等

・対象 各構成団体、一般

(3) 教務手帳出版

2017年度教務手帳
(3月24日納品予定)

・時期 3月下旬
・内容 相模原市からの委託による教務手帳刊行
・対象 相模原市立小学校教職員

